

新潟県薬剤師会 薬剤師ボランティア活動報告書

班名	〇班	報告日	平成23年 5月 26日
報告者氏名	水野 博高	同行者氏名	
活動期間	5月 20日 ~ 5月 23日	宿泊場所	石巻薬剤師会
活動拠点	石巻市薬剤師会	ジャンプへの掲載	掲載してもよい・掲載を希望しない
交通手段	自家用車		
主な活動 (簡潔に)	避難所巡回 女川町立病院・女川総合体育館での調剤業務		

<活動の内容>

なるべく多くの活動をしたく、他のメンバーとは別に現地入りをさせていただきました。当日朝6時に現地入り朝から活動をさせていただきました。

1カ月前に参加した時よりも、街並みがきれいになり道路わきに積み上げられていたごみの量も、随分と少なくなっていました。床上浸水等の比較的被害の少なく済んだ地区では、コンビニや飲食店、スーパーも営業を開始しており、元の状態に戻つつあります。刻々と、状況が変わっているなか、我々ボランティアに求められる活動内容も変化してきていると感じました。これからは、災害前の生活レベル以上の事は行わないようにし、避難所で生活されている方々の自立を促し支援する事を必要とされてきているように感じました。もちろん、家を津波等で失い住むところの無い方々です。助けは必要です。避難所の保健師さんがいられていましたが、仮設住宅に入らずこのまま避難所にいたいと言い始めた方々も出てきているようです。また、今後ボランティアに参加する人数が極端に少なくなる事が予想され、少ない人数でも継続して活動できるように活動内容を精査する時期になってきました。

梅雨の時期になり、気温も上がり湿度も上がる時期に、エアコンの無い体育館等で生活をしないといけない方々の環境衛生が心配になってくるため、仮設トイレや害虫の調査・指導を行ってきました。被災者に直接指導するのではなく、避難所を管理している行政の方々にお問い合わせ、回収したごみの扱いなどをお願いしてきました。OTCを配るという業務はほとんどなくなっており、薬剤師の本領を発揮する時期になってきているのではないのでしょうか？

避難所での診療も5月で撤退する県のJMATもあり、縮小傾向にあります。保険診療を始めた病院等も出てきており6月以降はさらに活動が難しくなってくる事が予想されています。